

b. 動物プランクトン調査

北原式定量ネットを使用して、調査地点の海底上 1m から海面までの鉛直引きを行って試料とした。曳網時には、網口部に濾水計を取り付け、濾水量を計測した。採取した試料はホルマリン固定して持ち帰り、沈殿量を計測後、種の同定と個体数の計数を行い、 1m^3 当たりの個体数に換算した。

i) 魚類等遊泳動物の生息状況

魚類等遊泳動物の生息状況について、『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010～2014 年), 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996 年), 『苫東厚真発電所第 4 号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998 年), 国立科学博物館ウェブサイト, 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004 年), 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004 年) により把握した。

ii) 海草及び藻類の生育状況並びにさんご類の生息状況

海草および藻類の生育状況について、『第 4 回自然環境保全基礎調査』(環境庁, 1994 年), 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996 年)^[3] 『平成 23 年度施行胆振海岸環境調査業務報告書』(公益社団法人北海道栽培漁業振興公社, 2012 年), 『平成 24 年度施行胆振海岸生物環境調査業務報告書』(公益社団法人北海道栽培漁業振興公社, 2013 年) により把握した。また、さんご類の生息状況について、『第 4 回自然環境保全基礎調査』(環境庁, 1994 年), 日本サンゴ礁学会ウェブサイトにより把握した。

I) 底生生物の生息状況

a. メイオベントス調査

スミス・マッキンタイヤ型採泥器を使用して 1 測点につき 1 回採泥を行った。この採泥器内の底泥から、内径 50mm のコアサンプラーを用いて深さ 5cm までの柱状採取を行った。採取した試料は、ホルマリン固定して持ち帰り、1mm 目合の篩を通過し、かつ 40μm 目合の篩上に残った生物について、可能な限り種まで同定し、個体数の計数を行い、 0.01m^2 当たりの個体数に換算した。なお、原生動物門の有孔虫綱 (Foraminifera) と袋形動物門の線虫綱 (Nematoda) は、分類体系が定まっていないため、種の同定は行っていない。

b. マクロベントス調査

スミス・マッキンタイヤ型採泥器を使用して 1 測点につき 3 回採泥を行い、混合して 1 試料とした。採取した試料は船上で篩い分けし、1mm 目合の篩上に残ったものをホルマリン固定して持ち帰り、種の同定、個体数の計数および湿重量の計量を行い、 1m^2 当たりの値に換算した。

c. メガロベントス調査

i) 水中カメラによるメガロベントス観察調査（生息状況）方法

遠隔操作無人探査機 (Remotely operated vehicle; ROV) による海底近傍の水中カメラ撮影を実施した。撮影された映像から、海底面の状況やメガロベントスの分布状

況を明らかにした。また、水深 20m 以浅の調査点において、ダイバーによる海底撮影および観察を実施した。

ii) ドレッジによるメガロベントス採取調査（種の同定）方法

簡易ドレッジを用いて、メガロベントスを採取した。採取した試料は、船上でバットに取り出して写真撮影した。種を同定できる個体については、種ごとに計数・計量して、再放流した。船上で種の同定が困難なメガロベントスは、ホルマリン固定して持ち帰り、種の同定、計数等を行い、ROV による画像データの検証に用いた。

(3) 結果

① 浮遊生物の生息状況

ア) 植物プランクトン調査

沈殿量および総出現細胞数は、夏季と春季に多くなる傾向が確認された。植物プランクトン相は、珪藻綱を主体とした 182 種で構成されていた。地点ごとの植物プランクトン相は 106～126 種で構成されていたが、四季の調査で共通して出現した種数は平均で 9.7 種とやや少なく、主要な種組成は季節により変動していることが示唆された。特に、St. 10 は他の地点と比較して同一種の出現率が 3.7% と少なく、季節変動が最も大きい地点であった。

総細胞数に対し 5% 以上出現した優占種は、四季を通じて 13 種であった。これら優占種は第 3.2-2 表に示すとおり、*Skeletonema costatum* が夏季～秋季、*Chaetoceros sociale* が秋季～冬季、*Chaetoceros radicans* が冬季～春季、*Chaetoceros compressum* が春季～夏季に多く出現し、季節により優占種が交代する過程が確認された。また、夏季調査では優占種の出現状況が温度躍層の上下で大きく異なっていたが、冬季調査では鉛直混合が生じているため、優占種は上下層間で近似する結果となった。また、春季調査では春季ブルームで卓越して増殖した 2 種の細胞数が全体の 90% を占めていた。

第3.2-2表 植物プランクトン優占種一覧

調査季	種名	出現率 (%)
夏季	<i>Thalassiosira</i> sp.	6.7
	<i>Skeletonema costatum</i>	10.5
	<i>Leptocylindrus mediterraneus</i>	5.9
	<i>Chaetoceros compressum</i>	15.9
	<i>Chaetoceros affine</i>	10.7
	<i>Chaetoceros curvisetum</i>	6.4
秋季	<i>Thalassiosira mala</i>	11.2
	<i>Skeletonema costatum</i>	9.0
	<i>Chaetoceros debile</i>	9.5
	<i>Chaetoceros sociale</i>	46.3
冬季	<i>Thalassiosira pacifica</i>	14.1
	<i>Chaetoceros radicans</i>	6.4
	<i>Chaetoceros sociale</i>	12.6
	<i>Asterionella kariana</i>	6.0
	<i>Thalassionema nitzschiooides</i>	34.5
春季	<i>Chaetoceros compressum</i>	66.6
	<i>Chaetoceros radicans</i>	26.2

イ) 動物プランクトン調査

沈殿量および総出現個体数は、夏季と春季に多くなることが確認された。動物プランクトン相は、節足動物門を主体とした 189 種で構成されていた。地点ごとの動物プランクトン相は 80~114 種で構成され、四季調査で共通して出現した種数は平均で 4.3 種と少なく、主要な種組成は季節により変動していることが示唆された。特に、St. 06 と St. 07 は四季共通の出現種数が 2 種以下と少なく、さらに St. 06 では環形動物、St. 07 では節足動物の種数が他の地点と比較して少なかった。

総個体数に対し 5%以上出現した優占種は、四季で 11 種であった。このうち、*Oithona similis* と Copepoda nauplii は四季を通じて優占していた。夏季調査では、二枚貝類の発生初期の幼生である Pelecypoda が優占しており、ウバガイ（ホッキガイ）を代表とした二枚貝類の資源が豊富な苦小牧海域を反映した結果と考えられた。

以上のとおり、動物プランクトンは四季を通じて出現する種数が少なく、出現状況は季節により変動することが確認された。動物プランクトンは浮遊生活を送る生物群であることから、海流の勢力消長により出現状況に年変動が生じる可能性も考えられる。

第3.2-3表 動物プランクトン優占種一覧

調査季	種名	出現率 (%)
夏季	<i>Pelecypoda</i>	11.7
	<i>Podon polypphemoides</i>	6.7
	<i>Paracalanus parvus s.l.</i>	33.1
	<i>Oithona similis</i>	12.3
	Copepoda nauplii	7.8
秋季	<i>Paracalanus parvus s.l.</i>	17.7
	<i>Clausocalanus pergens</i>	5.2
	<i>Acartia omorii</i>	5.7
	<i>Oithona similis</i>	19.6
	<i>Oncaea waldemari</i>	5.1
	Copepoda nauplii	34.3
冬季	Copepoda nauplii	42.2
	<i>Pseudocalanus newmani</i>	39.8
	<i>Oithona similis</i>	7.8
春季	Copepoda nauplii	52.9
	<i>Acartia longiremis</i>	19.6
	<i>Triconia borealis</i>	7.0
	<i>Oithona similis</i>	5.8

② 魚類等遊泳動物の生息状況

ア) 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

苫小牧市および厚真町地先海域で漁獲あるいは確認の記録がある魚類等を、第3.2-4表に示す。ただし、「漁業生物図鑑 新北のさかなたち」(北海道新聞社, 2003年) および「川づくりのための魚類ガイド」((財) 北海道建設技術センター, 2004年) については、市町単位での整理がなされていないため、苫小牧市および厚真町地先海域を含む北海道太平洋側あるいは道央太平洋側に生息する魚類を記載した。また、表中の魚類等の区分は『平成20~24年北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年) を参考とし、種名の並びは、区分ごとに五十音順で整理した。

苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等として、魚類553種、水産動物9種、海棲哺乳類6種が挙げられる。

第3.2-4(1)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	[1] 北海道水産現勢	[2] 環境影響評価書による 環境影響評価結果	[3] 環境影響評価計画による 環境影響評価結果	[4] 海棲哺乳類情報データベース	[5] 新漁業の生き物のかなたち	[6] 魚川づくりのための ガイド
			北海道水産現勢	環境影響評価書による 環境影響評価結果	環境影響評価計画による 環境影響評価結果	海棲哺乳類情報データベース	新漁業の生き物のかなたち	魚川づくりのための ガイド
苫小牧市、厚真町							北海道太平洋側	道央太平洋側
1	魚類	<i>Lestidiops pacificum</i>					○	
2		アイカジカ		○			○	
3		アイナメ	○	○	○		○	
4		アイナメ属			○			
5		アオザメ					○	
6		アオミシマ					○	
7		アオヤガラ					○	
8		アカアジ					○	
9		アカエイ		○			○	
10		アカカマス					○	
11		アカガヤ					○	
12		アカガレイ	○	○	○		○	
13		アカギンザメ					○	
14		アカジラウオダマシ					○	
15		アカゲンゲ					○	
16		アカシタビラメ					○	
17		アカチョッキクジラウオ					○	
18		アカドンコ					○	
19		アカマンボウ					○	
20		アカムツ					○	
21		アカヤガラ					○	
22		アキギンポ		○			○	
23		アゴハゼ					○	
24		アサバガレイ		○	○		○	
25		アサヒアナハゼ					○	
26		アシシロハゼ		○				○
27		アツモリウオ					○	
28		アパチャン					○	
29		アブオコゼ					○	
30		アブラガレイ					○	
31		アブラツノザメ		○			○	
32		アブラボウズ					○	
33		アマクサウオ					○	
34		アミメハギ					○	
35		アメマス					○	○
36		アヤギンポ					○	
37		アヤトビウオ					○	
38		アユ						○
39		アラ					○	
40		アラスカキチジ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrshl.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(2)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] （環境影響評価による環境小定）	③ ^[3] 環境設置計画に係る環境影響評価書	④ ^[4] 海棲哺乳類情報データベース	⑤ ^[5] 新漁業の生物種図鑑	⑥ ^[6] 魚川づくりのための
			北海道水産現勢	環境影響評価書に係る区域に係る	環境影響評価書	海棲哺乳類情報データベース	新漁業の生物種図鑑	魚川づくりのための
		苫小牧市、厚真町					北海道太平洋側	道央太平洋側
41		アラスカビクニン					○	
42		アラスカメヌケ					○	
43		アラハダカ					○	
44		アラメヌケ					○	
45		アラメヘラザメ					○	
46		アリューシャンカスベ					○	
47		アンコウ					○	
48		イカナゴ	○	○			○	
49		イサゴビクニン					○	
50		イシガキダイ					○	
51		イシガキフグ					○	
52		イシガレイ	○				○	
53		イシダイ					○	
54		イソギンボ					○	
55		イソギンボ科	○					
56		イソバテング	○				○	
57		イトヒキアジ					○	
58		イトヒキカジカ					○	
59		イトヒキダラ					○	
60		イトマキエイ					○	
61		イトヨ	○	○				
62		イトヨ（降海型）					○	○
63		イヌゴチ					○	
64		イバラヒゲ					○	
65		イボダイ					○	
66		イボダンゴ					○	
67		イラコアナゴ					○	
68		イレズミコンニャクアジ					○	
69		ウキクサウオ					○	
70		ウキゴリ	○	○				○
71		ウグイ	○	○			○	○
72		ウケグチイワシ					○	
73		ウサギアイナメ					○	
74		ウスオニハダカ					○	
75		ウスバハギ					○	
76		ウスメバル					○	
77		ウナギ					○	○
78		ウナギガジ	○	○			○	
79		ウナギギンボ					○	
80		ウバザメ					○	

[1] 『北海道水産現勢』（北海道水産林務部, 2010～2014年）

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』（北海道, 1996年）

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』（北海道電力株式会社, 1998年）

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』（国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17 アクセス）

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』（北海道新聞社, 2004年）

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』（一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年）

第3.2-4(3)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] ～環境影響評価書による環境小定め	③ ^[3] 環境影響評価計画による環境影響評価書	④ ^[4] 新漁業の生産物の図鑑	⑤ ^[5] 新漁業の生産物の図鑑	⑥ ^[6] 魚川づくりのための
			北海道水産現勢	～環境影響評価書による環境小定め	環境影響評価計画による環境影響評価書	新漁業の生産物の図鑑	新漁業の生産物の図鑑	魚川づくりのための
81		ウマヅラハギ			○		○	
82		ウミタナゴ					○	
83		ウラナイカジカ					○	
84		ウルメイワシ					○	
85		ウロコメガレイ					○	
86		エゾアイナメ		○	○		○	
87		エゾイソアイナメ					○	
88		エゾクサウオ		○	○		○	
89		エゾハナカジカ						○
90		エゾメバル					○	
91		エドアブラザメ					○	
92		オアカムロ					○	
93		オオカミウオ					○	
94		オオクチイシナギ					○	
95		オオクチイワシ					○	
96		オオサガ	○				○	
97		オオメハダカ					○	
98		オオメマトウダイ					○	
99		オキアジ					○	
100		オキエソ					○	
101		オキカズナギ					○	
102		オキカズナギ属		○			○	
103		オキタナゴ					○	
104		オキヒメカジカ					○	
105		オキフリソデウオ					○	
106		オクカジカ		○	○		○	
107		オグロコンニヤクウオ					○	
108		オコゼカジカ					○	
109		オシマオキカジカ					○	
110		オットセイカジカ					○	
111		オナガカスベ					○	
112		オニカジカ		○	○		○	
113		オニキンメ					○	
114		オニシャチウオ		○			○	
115		オニハダカ					○	
116		オニヒゲ					○	
117		オヒヨウ					○	
118		オホーツクカジカ					○	
119		オンデンザメ					○	
120		カイワリ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(4)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] （環境影響評価による環境小定）	③ ^[3] 環境設置計画に係る影響評価書	④ ^[4] 電気設備計画に係る影響評価書	⑤ ^[5] 新北漁業の生物図鑑	⑥ ^[6] 川づくりのための
			北海道水産現勢	北海道水産現勢	北海道水産現勢	北海道水産現勢	北海道水産現勢	北海道水産現勢
		苫小牧市、厚真町			北海道太平洋側			道央太平洋側
121		カガミダイ					○	
122		カサゴ					○	
123		ガジ		○			○	
124		カジカ科		○	○			
125		カズナギ					○	
126		カスミザメ					○	
127		カタクチイワシ		○	○		○	
128		カツオ					○	
129		カナガシラ					○	
130		カナダグマ					○	
131		カナド					○	
132		カブトウオ					○	
133		カムチャッカゲンゲ					○	
134		カムトサチウオ			○		○	
135		カラス					○	
136		カラスエイ					○	
137		カラスガレイ					○	
138		カラスザメ					○	
139		カラフトカジカ		○			○	
140		カラフトシシャモ					○	
141		カラフトソコグラ					○	
142		カラフトマス					○	○
143		カレイ科		○	○			
144		カワハギ					○	
145		カワヤツメ		○			○	○
146		ガンギエイ					○	
147		ガンコ					○	
148		カンテンウオ					○	
149		カンテンゲンゲ					○	
150		カンテントカゲギス					○	
151		カンテンビクニン					○	
152		カンパチ					○	
153		カンムリフサカジカ					○	
154		キアンコウ					○	
155		ギス					○	
156		ギスカジカ		○	○		○	
157		ギスカジカ属		○	○			
158		キタイカナゴ					○	
159		キタタウエガジ					○	
160		キタノホッケ					○	

[1] 『北海道水産現勢』（北海道水産林務部、2010～2014年）

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』（北海道、1996年）

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』（北海道電力株式会社、1998年）

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』（国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>、2014/10/17アクセス）

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』（北海道新聞社、2004年）

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』（一般財団法人北海道建設技術センター、2004年）

第3.2-4(5)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] （環境影響評価による）苫東評価部に係る	③ ^[3] 環境影響評価計画書による	④ ^[4] 環境設置計画書による	⑤ ^[5] 新漁業の生き物のかなたち	⑥ ^[6] 魚川づくりのための
			苫小牧市、厚真町				北海道太平洋側	道央太平洋側
161		キタフサギンポ					○	
162		キタマクラ					○	
163		キタムシャギンポ					○	
164		キチジ	○				○	
165		キツネメバル					○	
166		キヌカジカ					○	
167		キハダ					○	
168		ギマ					○	
169		キマダラヤセカジカ					○	
170		キュウリウオ		○	○		○	○
171		キュウリウオ科		○				
172		ギンアナゴ					○	
173		キンカジカ					○	
174		ギンザケ					○	
175		ギンザメ					○	
176		ギンダラ					○	
177		キントキダイ					○	
178		ギンボ		○			○	
179		キンメダイ					○	
180		クサウオ			○		○	
181		クサウオ属		○				
182		クサウオ科			○			
183		クサビワロコエソ					○	
184		クサフグ					○	
185		クジカスベ					○	
186		クシスミクイウオ					○	
187		クジメ			○		○	
188		クジャクカジカ					○	
189		クズアナゴ					○	
190		クダヤガラ					○	
191		クマガイウオ					○	
192		クマサカフグ					○	
193		クロウシノシタ					○	
194		クロカサゴ					○	
195		クロガシラガレイ	○	○			○	
196		クロガレイ				○	○	
197		クロコバン					○	
198		クロサバフグ					○	
199		クロゾイ			○	○	○	
200		クロゾコイワシ					○	

[1] 『北海道水産現勢』（北海道水産林務部、2010～2014年）

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』（北海道、1996年）

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』（北海道電力株式会社、1998年）

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』（国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>、2014/10/17アクセス）

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』（北海道新聞社、2004年）

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』（一般財団法人北海道建設技術センター、2004年）

第3.2-4(6)表 苦小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] ～環境影響評価書に係る	③ ^[3] 環境設置計画に係る	④ ^[4] デ海タ哺貝類情報	⑤ ^[5] 新漁業の生物か図鑑たち	⑥ ^[6] 魚川づくりのための
			苦小牧市、厚真町				北海道太平洋側	道央太平洋側
201		クロソコギス					○	
202		クロダイ					○	
203		クロテングギンザメ					○	
204		クロホシマユガジ					○	
205		クロマグロ	○				○	
206		クロムツ					○	
207		クロメダイ					○	
208		クロメヌケ					○	
209		クロモンガラ					○	
210		ケムシカジカ		○	○		○	
211		ケムシギンポ					○	
212		ゲンコ					○	
213		コウライガジ					○	
214		コウライマナガツオ					○	
215		コオリカジカ					○	
216		コガネガレイ		○			○	
217		コクチクサウオ					○	
218		ゴコウハダカ					○	
219		ココノホシギンザメ					○	
220		ゴテンアナゴ					○	
221		コトヒキ					○	
222		コノシロ					○	
223		コバンザメ					○	
224		コヒレハダカ					○	
225		コブオキカジカ					○	
226		コブシカジカ					○	
227		コブダイ					○	
228		コマイ	○	○	○		○	
229		ゴマギンポ					○	
230		ゴマサバ					○	
231		ゴマソイ					○	
232		ゴマフグ					○	
233		コモンカスペ			○		○	
234		コモンフグ					○	
235		コンゴウアナゴ					○	
236		コンニャクイワシ					○	
237		コンペイトウ					○	
238		サイトクビレ					○	
239		ザカトビウオ					○	
240		サギフエ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苦小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苦東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17 アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(7)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] （環境影響評価書）	③ ^[3] 環境設置計画	④ ^[4] 東北タマラクベス	⑤ ^[5] 新漁業の生き物か図鑑	⑥ ^[6] 魚川類づくりのための
			（環境影響評価書）に係る	（環境影響評価書）に係る	（環境影響評価書）に係る	（環境影響評価書）に係る	（環境影響評価書）に係る	（環境影響評価書）に係る
		苫小牧市、厚真町						北海道太平洋側
								道央太平洋側
241		サクラマス（ヤマメ）	○	○			○	○
242		サケ（シロザケ）	○	○	○		○	○
243		サケガシラ					○	
244		サケビクニン					○	
245		サッパ					○	
246		マサバ	○					
247		サブロウ					○	
248		サメガレイ		○			○	
249		サメトクビレ					○	
250		サメ類	○					
251		サヨリ					○	
252		ザラカスベ					○	
253		サラサガジ					○	
254		サラサカジカ					○	
255		サワラ					○	
256		サンゴイワシ					○	
257		サンコウメヌケ					○	
258		サンゴタツ					○	
259		サンマ					○	
260		シイラ					○	
261		シギウナギ					○	
262		シシャモ	○	○	○		○	○
263		シダアンコウ					○	
264		シチロウウオ		○	○		○	
265		シノノメサカタザメ					○	
266		シマウキゴリ		○				○
267		シマガツオ					○	
268		シマソイ（シマゾイ）					○	
269		シマフグ					○	
270		シモフリカジカ					○	
271		シモフリガレイ					○	
272		シラウオ		○			○	○
273		シロウオ					○	
274		シロカジキ					○	
275		シロギス					○	
276		シロゲンゲ					○	
277		シロサバフグ					○	
278		シロザメ					○	
279		シロシュモクザメ					○	
280		シロヒゲコンニャクウオ					○	

[1] 『北海道水産現勢』（北海道水産林務部、2010～2014年）

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』（北海道、1996年）

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』（北海道電力株式会社、1998年）

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』（国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrshl.kahaku.go.jp/marmam/>、2014/10/17アクセス）

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』（北海道新聞社、2004年）

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』（一般財団法人北海道建設技術センター、2004年）

第3.2-4(8)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] （環境影響評価による環境小定）	③ ^[3] 環境設置計画に係る影響評価書	④ ^[4] 海苔養殖場における電気設備の発電所	⑤ ^[5] 新漁業の生物図鑑	⑥ ^[6] 川づくりのための魚類
			北海道水産現勢	北海道水産現勢に係る影響評価書	北海道水産現勢に係る影響評価書	北海道水産現勢に係る影響評価書	北海道水産現勢に係る影響評価書	北海道水産現勢に係る影響評価書
281		シロブチヘビゲンゲ					○	
282		シワイカナゴ					○	
283		スイトウハダカ					○	
284		スギ					○	
285		スケトウダラ	○	○	○		○	
286		スジアイナメ		○	○		○	
287		スズキ					○	
288		ススキハダカ					○	
289		スズハモ					○	
290		スナガレイ	○	○			○	
291		スミウキゴリ						○
292		スミクイウオ					○	
293		スミツキメダマウオ					○	
294		セスジボラ					○	
295		セッキハダカ					○	
296		セッパリカジカ					○	
297		セトウシノシタ					○	
298		セトヌメリ					○	
299		セビロカジカ					○	
300		センニンフグ					○	
301	魚類	ソイ類	○					
302		ソウシハギ					○	
303		ソウハチ	○	○	○		○	
304		ソコイワシ					○	
305		ソコガンギエイ					○	
306		ソコギス					○	
307		ソコメダマウオ					○	
308		ソデアナゴ					○	
309		ソトオリイワシ					○	
310		ソロイヒゲ					○	
311		ダイナンウミヘビ					○	
312		ダイナンギンポ					○	
313		タウエガジ		○	○		○	
314		タウエガジ科		○	○			
315		ダウリアチョウザメ					○	
316		タカクラタツ					○	
317		タケギンポ		○	○		○	
318		タチウオ					○	
319		ダツ					○	
320		タテトクビレ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17 アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(9)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	[1] 北海道水産現勢	[2] 環境影響評価書による環境影響評価	[3] 環境影響評価計画による環境影響評価	[4] デルタ哺乳類情報データベース	[5] 新漁業の生き物か図鑑	[6] 魚川づくりのための
			北海道水産現勢	環境影響評価書による環境影響評価	環境影響評価計画による環境影響評価	デルタ哺乳類情報データベース	新漁業の生き物か図鑑	魚川づくりのための
321		タマガシズウビラメ					○	
322		チカ		○	○		○	
323		チカメカジカ					○	
324		チカメキントキ					○	
325		チクゼンハゼ					○	
326		チゴダラ		○			○	
327		チダイ					○	
328		チャレンジャーカスペ					○	
329		チョウザメ					○	
330		チョウチンアンコウ					○	
331		ツクシトビウオ					○	
332		ツノカスペ					○	
333		ツノガレイ					○	
334		ツノシャチウオ					○	
335		ツバメウオ					○	
336		ツボダイ					○	
337		ツマグロカジカ		○			○	
338		ツマグロカジカ属		○	○			
339		ツマリドクウロコイボダイ					○	
340		テナガダラ					○	
341		テンガイハタ					○	
342		テングカスペ					○	
343		テングギンザメ					○	
344		テングダイ					○	
345		テングトクビレ					○	
346		テンジクイサキ					○	
347		テンジクダイ					○	
348		トウガレイ					○	
349		トウジン					○	
350		トウヨシノボリ					○	
351		ドクウロコイボダイ					○	
352		トクビレ		○	○		○	
353		トクビレ科		○	○			
354		トゲカジカ		○	○			
355		トドハダカ					○	
356		トビウオ					○	
357		トビエイ					○	
358		トビカジカ					○	
359		トビヌメリ			○		○	
360		ドブカスペ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(10)表 苦小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] ～環境影響評価部に係る	③ ^[3] 環境設置計画に係る	④ ^[4] デハタ哺べ乳類情報	⑤ ^[5] 新漁業の生物か図鑑	⑥ ^[6] 魚川づがくりのための
			北海道水産現勢	環境影響評価部に係る	環境設置計画に係る	デハタ哺べ乳類情報	新漁業の生物か図鑑	魚川づがくりのための
361		トラザメ					○	
362		トラフグ					○	
363		ドロギンポ					○	
364		トンガリギンポ					○	
365		ナガガジ					○	
366		ナガコバン					○	
367		ナガヅカ		○			○	
368		ナガハダカ					○	
369		ナカムラギンメ					○	
370		ナガメバル					○	
371		ナヌカザメ					○	
372		ナベカ			○		○	
373		ナメヨコスジカジカ					○	
374		ニクハゼ					○	
375		ニジカジカ		○			○	
376		ニシキギンポ					○	
377		ニシキギンポ科		○				
378		ニジギンポ					○	
379		ニジマス					○	
380		ニシン	○	○	○		○	
381		ニセキタノトサカ					○	
382		ニセナメトクビレ					○	
383		ヌイメガジ		○	○		○	
384		ヌマガレイ		○	○		○	○
385		ヌマチチブ		○				○
386		ヌメリゴチ					○	
387		ネズッポ科			○			
388		ネズミギンポ					○	
389		ネズミザメ					○	
390		ハイイロオニハダカ					○	
391		ハガツオ					○	
392		ハゲカジカ					○	
393		バケダラ					○	
394		バケヌメリ					○	
395		ハコダテギンポ					○	
396		ハコフグ					○	
397		バショウカジキ					○	
398		ハゼ科			○			
399		ハダカオオカミウオ		○			○	
400		ハダカホティエソ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苦小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苦東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17 アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(11)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	[1] 北海道水産現勢	[2] ～環境影響評価書に係る	[3] 環境設置計画による	[4] デ海タ哺育情報	[5] 新漁業の生き物かなたち	[6] 魚川づくりのための
			北海道水産現勢	環境影響評価書に係る	環境設置計画による	デ海タ哺育情報	新漁業の生き物かなたち	魚川づくりのための
401		ハタタテヌメリ					○	
402		ハタハタ	○	○	○		○	
403		ハツメ					○	
404		ハナイトギンポ					○	
405		ハナオコゼ					○	
406		ハナジロガジ					○	
407		ハナソコダラ					○	
408		ハナビラウオ					○	
409		ハナブサギンポ					○	
410		ババガレイ		○	○		○	
411		ハマダツ					○	
412		ハマトビウオ					○	
413		ハマフグ					○	
414		ハラスジゲンゲ					○	
415		バラムツ					○	
416		バラメヌケ					○	
417		ハリセンボン					○	
418		ハレガジ					○	
419		ヒガシホウライエソ					○	
420		ヒガンフグ					○	
421		ピクニン		○			○	
422		ヒシマトウダイ					○	
423		ヒメイトマキエイ					○	
424		ヒメウナギギンポ					○	
425		ヒメジ					○	
426		ヒモギンポ					○	
427		ヒモダラ					○	
428		ヒラ					○	
429		ヒラソウダ					○	
430		ヒラマサ					○	
431		ヒラメ	○				○	
432		ビリング		○			○	○
433		ヒレグロ	○	○			○	
434		ヒレグロピクニン					○	
435		ヒレグロメヌケ					○	
436		ヒレナガチヨウチンアンコウ					○	
437		ヒロクチゲンゲ					○	
438		ビワアンコウ					○	
439		ピンナガ					○	
440		フウセンウオ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(12)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] （環境影響評価による環境小定）	③ ^[3] 環境設置計画に係る書類	④ ^[4] 新漁業の生物評価書による発電所4号機	⑤ ^[5] 新漁業の生物評価書による発電所4号機	⑥ ^[6] 魚川づくりのための
			苫小牧市、厚真町				北海道太平洋側	道央太平洋側
441		フウライクサウオ					○	
442		フェドロカスベ					○	
443		フサカジカ					○	
444		フサギンボ					○	
445		フサコオリカジカ					○	
446		フジクジラ					○	
447		ブチカジカ					○	
448		ブラウントラウト					○	
449		ブリ					○	
450		フリソデウオ					○	
451		ブリモドキ					○	
452		ベニザケ（ヒメマス）	○	○			○	○
453		ヘビハゼ					○	
454		ペロ					○	
455		ボウズギンボ					○	
456		ボウズコンニャク					○	
457		ホウボウ					○	
458		ホウライエソ					○	
459		ホカケアナハゼ	○				○	
460		ホクヨウハダカ					○	
461		ホシエイ					○	
462		ホシザメ					○	
463		ホシセミホウボウ					○	
464		ホソトビウオ					○	
465		ホッキョクカジカ					○	
466		ホッケ	○	○			○	
467		ホティウオ					○	
468		ホホウロコカジカ					○	
469		ホホジロザメ					○	
470		ボラ	○				○	○
471		ホラアナゴ					○	
472		ホンカブトウオ					○	
473		マアジ	○	○			○	
474		マアナゴ					○	
475		マイワシ	○	○	○		○	
476		マオナガ					○	
477		マカジキ					○	
478		マガレイ	○	○			○	
479		マコガレイ					○	
480		マゴチ					○	

[1] 『北海道水産現勢』（北海道水産林務部、2010～2014年）

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』（北海道、1996年）

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』（北海道電力株式会社、1998年）

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』（国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17 アクセス）

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』（北海道新聞社、2004年）

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』（一般財団法人北海道建設技術センター、2004年）

第3.2-4(13)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] 環境影響評価書による 環境影響評価	③ ^[3] 環境設置計画による 環境影響評価	④ ^[4] デ海タ哺育機による 情報	⑤ ^[5] 新漁業の生き物図鑑	⑥ ^[6] 魚川類づくりのための ガイド
			苫小牧市、厚真町				北海道太平洋側	道央太平洋側
481		マサバ		○	○		○	
482		マスノスケ					○	
483		マダイ					○	
484		マダラ	○	○			○	
485		マダラメダマウオ					○	
486		マツカサウオ					○	
487		マツカジカ					○	
488		マツカワ	○				○	
489		マツダイ					○	
490		マツバラエイ					○	
491		マトウダイ					○	
492		マハゼ					○	
493		マフグ					○	
494		マメハダカ					○	
495		マルソウダ					○	
496		マルタ					○	○
497		マンザイウオ					○	
498		マンボウ					○	
499		ミギガレイ					○	
500	魚類	ミシマオコゼ					○	
501		ミズウオ					○	
502		ミズウオダマシ					○	
503		ミツクリエナガチョウチンアンコウ					○	
504		ミツマタヤリウオ					○	
505		ミミズハゼ					○	○
506		ムシガレイ					○	
507		ムシャギンポ					○	
508		ムスジガジ					○	
509		ムツ			○		○	
510		ムツカジカ					○	
511		ムネエソ					○	
512		ムネダラ					○	
513		ムネハダカジカ					○	
514		ムラソイ					○	
515		ムロアジ					○	
516		ムロランギンポ					○	
517		メイタガレイ					○	
518		メカジキ					○	
519		メガネカスベ		○			○	
520		メジナ					○	

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(14)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] (環境影響評価による) 環境影響評価書に係る	③ ^[3] 環境設置計画に係る	④ ^[4] 海棲哺乳類情報データベース	⑤ ^[5] 新漁業の生き物図鑑	⑥ ^[6] 魚川づくりのための	北海道 太平洋側	道央 太平洋側
									北海道 太平洋側	道央 太平洋側
521	魚類	メジロザメ						○		
522		メダイ						○		
523		メダマギンポ						○		
524		メナダ						○	○	
525		メバチ						○		
526		メバル		○				○		
527		メバル属			○					
528		モロ						○		
529		モンツキガジ						○		
530		ヤエギス						○		
531		ヤギウオ						○		
532		ヤギシリカジカ		○				○		
533		ヤセカジカ						○		
534		ヤセサブロウ		○	○			○		
535		ヤセソコイワシ						○		
536		ヤセテングトクビレ						○		
537		ヤセトクビレ						○		
538		ヤッコエイ						○		
539		ヤナギノマイ						○		
540		ヤナギムシガレイ						○		
541		ヤナギメバル						○		
542		ヤマトカマス						○		
543		ヤマトイビレエイ						○		
544		ユキオニハダカ						○		
545		ユキフリソデウオ						○		
546		ヨウジウオ		○				○		
547		ヨコエソ						○		
548		ヨコスジカジカ		○				○		
549		ヨコスジクロゲング						○		
550		ヨシキリザメ						○		
551		リボンカスベ						○		
552		リュウグウノツカイ						○		
553		ワカサギ		○				○	○	
555	水産動物	アカイカ	○							
556		エゾバフンウニ	○							
557		ケガニ	○							
558		スルメイカ	○							
559		タラバガニ	○							
560		トヤマエビ	○							

[1] 『北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014年)

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』(北海道, 1996年)

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』(北海道電力株式会社, 1998年)

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』(国立科学博物館ウェブサイト : <http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>, 2014/10/17 アクセス)

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』(北海道新聞社, 2004年)

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』(一般財団法人北海道建設技術センター, 2004年)

第3.2-4(15)表 苫小牧市および厚真町地先海域に生息する魚類等

番号	区分	資料名および対象地域 種名	① ^[1] 北海道水産現勢	② ^[2] （環境影響評価書）	③ ^[3] 環境影響評価計画	④ ^[4] 新漁業の生き物か図鑑たち	⑤ ^[5] 新漁業の生き物か図鑑たち	⑥ ^[6] 魚川づくりのためのための	
			（環境影響評価書）	（環境影響評価書）	（環境影響評価書）	（環境影響評価書）	（環境影響評価書）	（環境影響評価書）	
		苫小牧市、厚真町			北海道太平洋側			道央太平洋側	
561	水産動物	ホッコクアカエビ	○						
562		マナマコ	○						
563		ヤナギダコ	○						
564	海棲哺乳類	カマイルカ				○			
565		コマツコウクジラ				○			
566		ザトウクジラ				○			
567		ナガスクジラ				○			
568		ネズミイルカ				○			
569		ミンククジラ				○			
種数		魚類				553			
		水産動物				9			
		海棲哺乳類				6			

[1] 『北海道水産現勢』（北海道水産林務部、2010～2014年）

[2] 『苫小牧東部地域に係る環境影響評価書』（北海道、1996年）

[3] 『苫東厚真発電所第4号機設置計画に係る環境影響評価書』（北海道電力株式会社、1998年）

[4] 『海棲哺乳類情報データベース』（国立科学博物館ウェブサイト：<http://svrsh1.kahaku.go.jp/marmam/>、2014/10/17アクセス）

[5] 『漁業生物図鑑新北のさかなたち』（北海道新聞社、2004年）

[6] 『川づくりのための魚類ガイド』（一般財団法人北海道建設技術センター、2004年）

4) 苫小牧市および厚真町地先海域における魚種別の漁獲量

苫小牧市および厚真町地先海域における魚種別の漁獲量および漁獲金額の推移を整理した。なお、対象種は『平成 20~24 年北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014 年)に記載されている苫小牧市および厚真町の各年の漁獲量あるいは漁獲金額の上位 5 位に含まれる種（サケ、シシャモ、スケトウダラ、ゾウハチ、タラ、ホッケ、マガレイ、マツカワ、ケガニ、スルメイカ、ナマコ、ヤナギダコ、バカガイおよびウバガイ（ホッキガイ）の 14 種）とした。

また、『平成 20~24 年北海道水産現勢』(北海道水産林務部, 2010~2014 年)で漁獲実績があるが種の特定ができないもの（サメ類、ソイ類、その他のカレイ類、その他の魚類、その他のイカ類、その他のエビ類、その他の水産動物、ツブ類およびその他の貝類）については、集計対象から除外した。なお、種によって漁獲量および漁獲金額の差が大きいため、漁獲量および漁獲金額はその多寡で分けて整理した。

主要な魚類等の漁獲量を第 3.2-5 表に、漁獲金額を第 3.2-6 表に示す。また、主要な魚類等の漁獲量の推移は第 3.2-1 図、漁獲金額の推移は第 3.2-2 図に示すとおりである。

苫小牧市の漁獲量は、30 年間を通してサケ、スケトウダラ、ホッケ、スルメイカ、ウバガイが多い。サケの漁獲量は 431~1,840 トンで推移し、2009 年で最大、1999 年で最小となっている。スケトウダラの漁獲量は 330~6,806 トンで推移し、1984 年で最大、1999 年に最小となっている。また、スケトウダラは 1984 年以降減少し、1992~2004 年は 2,000 トンを下回るが、その後 2,000 トン以上に回復している。ホッケは 21~665 トンで推移し、1989 年で最大、1983 年で最小となっている。スルメイカの漁獲量は 6~1,634 トンで推移し、2008 年で最大、1986 年で最小となっている。ウバガイの漁獲量は 159~1,255 トンで推移し、1994 年で最大、1984 年で最小となっている。

厚真町の漁獲量は、30 年間を通してウバガイが多く、1983、1984 年はスケトウダラも多い。ウバガイの漁獲量は 37~316 トンで推移し、1994 年で最大、2001 年で最小となっている。スケトウダラは漁獲なし~372 トンで推移し、1984 年で最大で、1989~2002 年、2004 年、2011 年は漁獲がない。

苫小牧市の漁獲金額は、30 年間を通してサケ、スケトウダラ、ウバガイが多い。サケの漁獲金額は 134,977 千~835,317 千円で推移し、2008 年で最高、2002 年で最低となっている。スケトウダラの漁獲金額は 16,439 千~665,847 千円で推移し、2007 年で最高、1999 年で最低となっている。ウバガイの漁獲金額は 130,248 千~870,590 千円で推移し、1993 年で最高、1984 年で最低となっている。

厚真町の漁獲金額は、30 年間を通してシシャモとウバガイが多い。シシャモの漁獲金額は漁獲なし~40,649 千円で推移し、2009 年で最高で、1991~1993 年は漁獲がない。ウバガイの漁獲金額は 16,424 千~208,476 千円で推移し、1994 年で最高、2001 年で最低となっている。

第3.2-5(1)表 主要な魚類等の漁獲量（苫小牧市）【1983～2012年：過去30年間】

年	サケ	シシャモ	スケトウダラ	ソウハチ	タラ	ホッケ	マグレイ	マツカワ	ケガニ	スルメイカ	ナマコ	ヤナギダコ	バカガイ	ウバガイ		
1983	816	6	5,429		1	21			177							
1984	666	16	6,806		8	36			0					192		
1985	1,126	22	3,660	3	11	87	71		69	32	0	72	34	159		
1986	999	17	2,872	2	8	212	73		72	6	0	75	48	185		
1987	862	33	4,281	5	11	311	35		45	13	0	106	64	297		
1988	976	30	2,632	5	10	198			105	49	0	76	78	323		
1989	1,048	17	2,711	7	31	665	34		64	271	0	74	35	519		
1990	1,628	5	2,147	17	40	416	59		—	99	0	48	16	657		
1991	1,116	0	2,158	4	12	73	14		—	41	0	40	18	713		
1992	764	2	1,942	12	13	26	33		48	45	—	33	36	921		
1993	931	—	1,233	8	8	181	30		64	55	0	38	73	1,184		
1994	1,002	2	664	9	7	279	50		59	53	—	13	108	1,255		
1995	996	6	442	23	6	153	29		67	43	0	34	103	1,131		
1996	1,304	5	824	71	11	104	45		58	103	0	33	62	1,171		
1997	939	11	497	40	24	213	42		42	273	0	79	60	929		
1998	836	16	539	25	36	166	48		51	216	0	79	45	998		
1999	421	9	320	19	40	405	57		56	210	0	54	67	955		
2000	567	1	1,095	30	34	251	51		56	892	0	25	77	888		
2001	991	19	1,491	33	66	238	63		58	1,046	0	25	82	898		
2002	534	12	697	14	40	186	38		76	36	0	54	72	892		
2003	1,195	14	874	37	26	143	52		73	701	0	27	71	839		
2004	1,541	9	1,622	47	34	215	51		60	857	0	33	64	835		
2005	1,345	15	2,932	47	30	124	40		58	203	0	35	53	829		
2006	1,284	26	5,446	27	38	129	29		67	81	0	46	49	841		
2007	1,809	7	5,578	29	42	128	34		80	601	0	75	61	882		
2008	1,734	3	4,381	68	112	43	33		14	93	1,634	0	51	74	825	
2009	1,840	14	6,142	58	91	316	39		13	93	1,305	0	46	78	814	
2010	968	11	5,070	131	98	146	72		11	93	9	1	91	85	741	
2011	888	2	5,057	158	101	91	123		5	108	178	0	110	100	691	
2012	736	2	3,569	436	99	102	141		11	88	1,307	0	123	112	684	
最大	431	33	6,806	436	2	112	665		141	14	177	1,634	1	123	112	1,255
最小	431	0	330	21	1	21	14		5	0	6	0	13	16	159	

注：『平成20～24年北海道水産現勢』（北海道水産林務部、2010～2014年）に基づき作成した。

■は統計情報がないことを示す。

「—」は漁獲がないこと、「0」は単位未満であることを示す。
バカガイは2007年以前は「エゾバカガイ」として扱われている。

第3.2-5(2)表 主要な魚類等の漁獲量（厚真町）【1983～2012年：過去30年間】

年	サケ	シシャモ	スケトウダラ	ソウハチ	タラ	ホシケ	マガレイ	マツカリ	ケガニ	スルメイカ	ナマコ	ヤナギダコ	バカガイ	バハガイ
1983	-	18	237	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	70
1984	-	19	372	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	59
1985	-	20	76	-	2	17	-	-	0	-	-	-	0	81
1986	-	6	43	-	7	14	-	1	-	-	0	-	-	74
1987	-	28	1	-	1	10	0	0	0	0	0	-	-	76
1988	-	19	21	-	0	4	-	6	4	-	-	-	-	87
1989	-	10	-	-	0	7	-	2	2	-	-	-	-	115
1990	-	0	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	190
1991	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	167
1992	-	-	-	-	-	-	-	3	2	-	-	-	-	169
1993	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1	215	316
1994	-	5	-	-	-	-	4	4	1	-	-	0	-	221
1995	-	19	-	-	-	-	4	2	1	1	-	-	-	158
1996	-	17	-	-	-	-	8	3	-	2	-	-	-	194
1997	-	31	-	-	-	-	8	2	-	-	-	-	-	121
1998	-	28	-	-	-	-	10	3	-	-	2	-	-	86
1999	-	26	-	-	-	-	6	4	-	-	5	0	0	100
2000	-	13	-	-	-	-	7	4	-	-	3	0	0	55
2001	-	28	-	-	-	1	0	9	4	-	-	3	0	37
2002	-	23	-	0	-	0	3	5	-	-	9	1	1	74
2003	-	24	0	1	0	0	6	5	1	0	4	2	2	101
2004	-	16	-	1	0	0	5	4	2	3	2	1	1	100
2005	-	23	3	0	0	0	9	4	1	2	4	1	1	104
2006	-	35	86	1	1	5	-	3	0	1	1	2	-	129
2007	0	29	62	1	1	4	-	5	1	2	4	1	1	192
2008	-	10	23	3	0	6	1	6	0	3	2	1	1	250
2009	-	27	42	2	0	5	2	6	0	0	10	0	0	289
2010	-	25	6	7	0	-	13	2	6	-	2	3	0	200
2011	-	6	-	11	0	-	20	2	7	-	1	10	0	202
2012	-	6	0	22	0	0	25	2	5	-	1	4	-	316
最大	0	35	372	22	3	7	25	2	7	4	3	10	2	37
最小	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	37

注：『平成20～24年北海道水産現勢』（北海道水産林務部、2010～2014年）に基づき作成した。

■は統計情報がないことを示す。
 「-」は漁獲がないこと、「0」は単位未満であることを示す。
 バカガイは2007年以前は「エゾバカガイ」として扱われている。